



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年10月29日

上場会社名 ヤスハラケミカル株式会社

上場取引所 東

コード番号 4957 URL <http://www.yschem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安原 禎二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部長 (氏名) 敷田 憲治

TEL 0847-45-3530

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

2021年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	6,330	22.0	371	275.3	449	404.4	336	392.1
2021年3月期第2四半期	5,188	△16.0	98	—	89	—	68	10.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	32.78	—
2021年3月期第2四半期	6.66	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	24,964	19,087	76.5
2021年3月期	25,194	18,801	74.6

(参考)自己資本 2022年3月期第2四半期 19,087百万円 2021年3月期 18,801百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2022年3月期	—	6.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,098	6.7	518	46.9	613	27.7	426	27.8	41.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4)四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	10,839,663 株	2021年3月期	10,839,663 株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	565,171 株	2021年3月期	565,131 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	10,274,519 株	2021年3月期2Q	10,274,591 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が進行中ですが、引続き経済活動が大きく抑制され、個人消費の減少に加え、雇用情勢や所得環境の変化など、厳しい状況で推移いたしました。また、世界経済におきましても、各国でワクチン接種が進行し、一部の国で経済活動が再開しておりますが、依然として新型コロナウイルス感染症の収束見通しが立たないことから、先行きは不透明な状況が続いております。

当社が関係しております粘着・接着・香料・電子材料・ラミネート業界におきましては、全体的には持ち直しが見られたものの、国内市場の低迷や原材料高、価格競争等により、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような経済情勢のなかで、当社といたしましては、市場や顧客ニーズの変化を的確に把握し、高付加価値製品の開発、国内外の新規市場開拓及び取引先との関係強化を積極的に取り組み、販売の拡大に努めてまいりました。また、原価低減や生産効率の向上、業務の合理化をはかり、利益の確保に取り組んでまいりました。なお、当第2四半期会計期間末において、新型コロナウイルス感染症による影響は若干認められるものの、前年同四半期会計期間末時点の影響よりは和らいでいると認識しております。

この結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高6,330百万円(前年同四半期比22.0%増)、原価低減や生産効率の向上により営業利益371百万円(同275.3%増)、経常利益449百万円(同404.4%増)、四半期純利益336百万円(同392.1%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べ229百万円減少し24,964百万円となりました。これは主に、投資有価証券、現金及び預金、製品が増加した一方、原材料及び貯蔵品、仕掛品、売掛金の減少によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ516百万円減少し5,876百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ286百万円増加し19,087百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び同等物(以下「資金」という。)は、4,060百万円となり前事業年度末に比べ385百万円の増加となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、1,627百万円(前年同四半期は505百万円の獲得)となりました。これは主に、法人税等の支払を行った一方、棚卸資産及び売上債権の減少に加え税引前四半期利益及び減価償却費等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、585百万円(前年同四半期は187百万円の使用)となりました。これは主に、投資有価証券及び有形固定資産の取得によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、688百万円(前年同四半期は687百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年4月30日に公表いたしました2022年3月期の通期の予想を修正いたしております。

詳細につきましては、本日(2021年10月29日)公表いたしました「2022年3月期第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,181,876	4,567,921
売掛金	2,205,016	2,078,902
製品	1,938,931	2,266,498
仕掛品	1,348,886	1,148,359
原材料及び貯蔵品	8,456,968	7,464,542
その他	60,162	99,035
貸倒引当金	△2,261	△2,078
流動資産合計	18,189,580	17,623,182
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	861,525	841,221
機械及び装置(純額)	860,111	754,042
土地	2,875,411	2,925,872
その他(純額)	502,659	483,902
有形固定資産合計	5,099,707	5,005,039
無形固定資産		
	84,328	80,469
投資その他の資産		
投資有価証券	948,966	1,341,362
繰延税金資産	136,910	141,143
その他	744,768	783,233
貸倒引当金	△9,642	△9,642
投資その他の資産合計	1,821,002	2,256,096
固定資産合計	7,005,039	7,341,605
資産合計	25,194,619	24,964,787
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	458,219	509,731
短期借入金	1,840,020	1,840,020
未払法人税等	143,429	141,138
前受金	957	4,999
賞与引当金	134,322	142,134
その他	530,390	590,261
流動負債合計	3,107,339	3,228,285
固定負債		
長期借入金	2,239,955	1,619,945
退職給付引当金	456,252	429,506
役員退職慰労引当金	579,081	591,587
その他	10,536	7,527
固定負債合計	3,285,825	2,648,566
負債合計	6,393,164	5,876,851

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789,567	1,789,567
資本剰余金	1,729,013	1,729,013
利益剰余金	15,451,853	15,727,002
自己株式	△391,967	△391,989
株主資本合計	18,578,467	18,853,595
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	222,988	234,340
評価・換算差額等合計	222,988	234,340
純資産合計	18,801,455	19,087,935
負債純資産合計	25,194,619	24,964,787

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	5,188,021	6,330,771
売上原価	4,251,893	5,000,547
売上総利益	936,128	1,330,224
販売費及び一般管理費	837,213	959,026
営業利益	98,915	371,197
営業外収益		
受取利息	8,878	5,253
受取配当金	8,918	9,349
為替差益	—	37,291
その他	38,009	33,030
営業外収益合計	55,806	84,924
営業外費用		
支払利息	4,733	3,930
為替差損	59,259	—
手形売却損	1,590	1,963
その他	8	693
営業外費用合計	65,591	6,588
経常利益	89,130	449,534
特別利益		
固定資産売却益	235	—
投資有価証券売却益	21,163	—
特別利益合計	21,399	—
特別損失		
固定資産処分損	5,742	—
特別損失合計	5,742	—
税引前四半期純利益	104,787	449,534
法人税、住民税及び事業税	56,717	122,830
法人税等調整額	△20,372	△10,092
法人税等合計	36,345	112,737
四半期純利益	68,441	336,796

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	104,787	449,534
減価償却費	226,963	224,718
受取利息及び受取配当金	△17,797	△14,602
支払利息	4,733	3,930
為替差損益 (△は益)	47,635	△31,434
投資有価証券売却損益 (△は益)	△21,163	—
固定資産売却損益 (△は益)	△235	—
固定資産処分損益 (△は益)	5,742	—
売上債権の増減額 (△は増加)	439,015	126,114
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△987,938	865,385
前渡金の増減額 (△は増加)	537,091	△10,941
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,582	51,512
その他	62,845	78,563
小計	398,097	1,742,780
利息及び配当金の受取額	20,618	15,293
利息の支払額	△4,645	△3,820
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	91,159	△126,963
営業活動によるキャッシュ・フロー	505,230	1,627,290
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△143,766	△1,033
有形固定資産の取得による支出	△43,958	△143,988
有形固定資産の売却による収入	236	—
無形固定資産の取得による支出	△602	△29,412
投資有価証券の取得による支出	△1,330	△375,183
投資有価証券の売却による収入	36,782	—
保険積立金の積立による支出	△35,343	△35,759
投資活動によるキャッシュ・フロー	△187,982	△585,376
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△620,010	△620,010
リース債務の返済による支出	△5,480	△5,480
配当金の支払額	△61,707	△62,825
自己株式の純増減額 (△は増加)	△39	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△687,237	△688,336
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47,635	31,434
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△417,624	385,011
現金及び現金同等物の期首残高	2,879,154	3,675,647
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,461,529	4,060,658

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。なお、当第2四半期累計期間の損益に与える影響はありません。利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」

(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。